

(公表用様式)

業務再点検結果報告

組織名	関東農政局整備部	連絡先	048-745-0531
所管する業務の概要	農業農村整備事業の工事設計、設計審査、技術上の指導監督、補助事業に関する事業採択・指導・助成・予算の調整、国営事業の用に供する土地・工作物等の権利買収、補償に関すること。		

1. 基本的な心構え・行動	
・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策
「接遇研修」を、原則、全職員が受講し、同研修で学んだことを実践している。	従来から、丁寧な対応や適正な言葉遣いはなされていた。しかし、質問に対する的確な受け答え、苦情等、予想外の意見への対応が十分に改善されていない。
業務中は名札とともに「ビジョンステートメント」を常時携行している。更に、「ビジョンステートメント」及び「行動規範」を事務室内の数カ所に掲示し、全職員が業務に取り組む規範としている。	国民視点で業務に取り組んでいるが、従来からの継続的な仕組みの中での業務が多いこともあり、まだ前例に捕らわれることがある。

2. 政策・事業等の企画立案・推進	
・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策
事業説明会、担当者会議等において意見交換を実施し、政策ニーズ等の把握に努めている。	
現地調査等出張する際、用務先近傍の首長に会う機会を設け、農政の課題に関する意見交換や事業制度の説明等を行っている。	国民のニーズを把握するとともに、円滑な業務の推進のためにも、意見交換の場や説明する首長、会う機会を増やす。

3. リスク管理	
<p>・現在行っている取組や工夫</p> <p>「ヒヤリ・ハット事例集」が更新される度に部内職員に連絡をしている。</p> <p>地震時における施設点検をマニュアル化し、関係者に配布・周知している。また、災害時における緊急連絡網及び休日夜間時の参集及び連絡要員体制について定期的にチェックをかけると共に災害を想定した行動をシミュレーションしている。</p>	<p>・点検によって得られた課題とその改善策</p> <p>「ヒヤリ・ハット事例集」を閲覧していない職員が見受けられるので、更に周知徹底を図る。</p> <p>先の駿河湾地震では、緊急参集、施設の緊急点検等リスク管理に基づいた行動がとられ、マニュアル通りの作業が出来た事から、取り組みの成果を確認できたが、災害時に迅速かつ的確な対応ができるよう引き続き油断せずに取り組んでいく。</p>
4. その他の重要な取組	
<p>・現在行っている取組や工夫</p> <p>業務再点検に当たり、整備部長をキャップに局次長の指導を仰ぎながら、日常業務の再点検や新たな業務の推進方向などについて検討した。</p> <p>職員個々人の資質向上が国民から信頼される組織の形成に繋がるとの視点から、職員の習熟度に応じた選択方式の研修を実施する。更に、効果を確認する上で、技術関連の国家等資格の取得を奨励する。</p>	<p>・点検によって得られた課題とその改善策</p> <p>検討結果を基に、業務の効率化の具体的な実現を図る。</p> <p>研修受講のアドバイザーを局内に設置し、多様な研修プログラムを準備する。</p>